

2025年度決算の概要

(2025年4月1日～2026年3月31日)

2026年5月20日

山陽特殊製鋼株式会社

<https://www.sanyo-steel.co.jp/>



「さんとくん」
(当社キャラクター)

目次

1. 2025FY決算の概況

2025FY損益の概要

事業環境、欧州事業環境

業績推移

経常利益の変化要因(2024FY→2025FY)

OVAKOの状況、SSMIの状況

2. トピックス

3. 2050年カーボンニュートラル(CN)実現に向けた取り組み

4. 参考資料

軸受在庫循環図、業績推移(年度)

1. 2025FY決算の概況

2025FY損益の概要 (対2024FY)

連結経常利益115億円(前年同期比+24億円)

当社単独の売上数量増、連結子会社損益の改善等により増益

当社単独は売上数量の増加等により前期比増益。OVAKOは米国関税をはじめとした欧州景気の不透明感により需要が低迷した中、コスト削減の取り組みの効果などにより小幅な減益にとどまった。グループ全体としては連結子会社損益の改善もあり前期比増収増益となった。

(単位：億円、%)

	2025FY (A)		2024FY (B)		増減 (A) - (B)	
	金額	売上高比率	金額	売上高比率	金額	増減率
売上高	3,418	100.0	3,295	100.0	+123	+3.7
経常利益	115	ROS 3.4	91	ROS 2.8	+24	+26.5
内、当社単独	130	7.6	123	7.5	+7	+6.1
(子会社配当除き)	101	5.9	95	5.8	+6	+6.4
内、OVAKO	31	2.3	33	2.5	-2	-6.8
内、SSMI	8	3.7	8	3.5	+0	+3.3
内、のれん償却費	▲36	-	▲34	-	-2	-
税後利益 (注1)	72	2.1	43	1.3	+29	+66.1
のれん償却費を除く税後利益	108	3.2	77	2.3	+31	+40.0
売上数量 (千t)	1,447	120.6 /月	1,349	112.4 /月	+99	+8.2 /月
内、当社単独	830	69.1 /月	743	61.9 /月	+86	+7.2 /月
内、OVAKO	493	41.1 /月	494	41.1 /月	-1	-0.0 /月
内、SSMI	125	10.4 /月	112	9.3 /月	+13	+1.1 /月

(注1)親会社株主に帰属する当期純利益

(注2)SSMI：1月～12月の数値

事業環境

需要動向

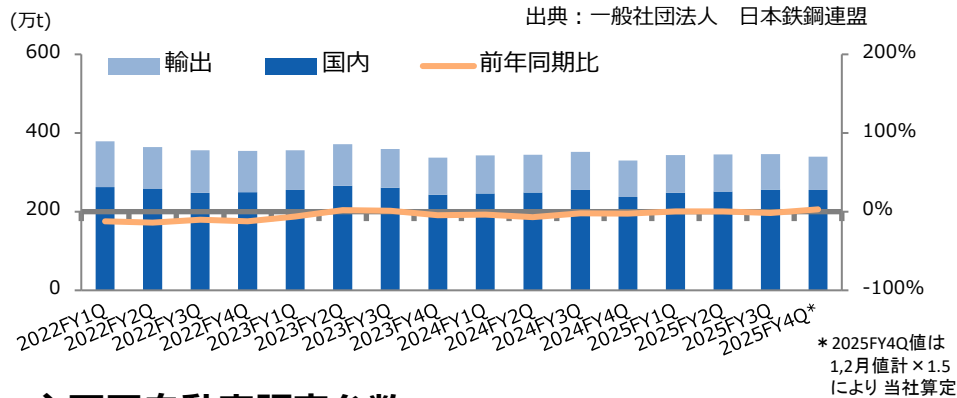
日本：需要は回復基調にあるものの、その動きは緩やか。米国関税、中東情勢の需要業界に与える影響は不透明。

欧州：中国含め経済全体の回復の遅れなどにより需要が停滞。CBAM導入・鉄鋼セーフガード強化などによる需要回復を期待。ただし、米国関税、中東情勢の需要業界に与える影響は不透明。

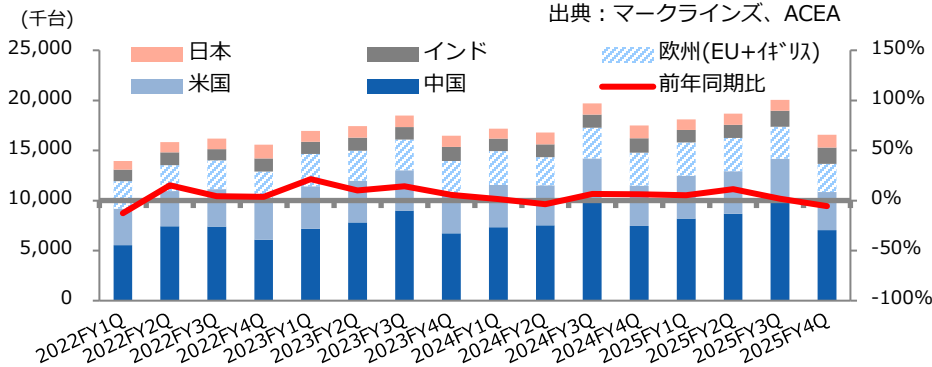
原燃料価格

原料価格は鉄スクラップをはじめとして上昇傾向。エネルギー価格は依然として高位で推移。中東情勢の影響に伴う今後の原燃料価格の動向に注視する。

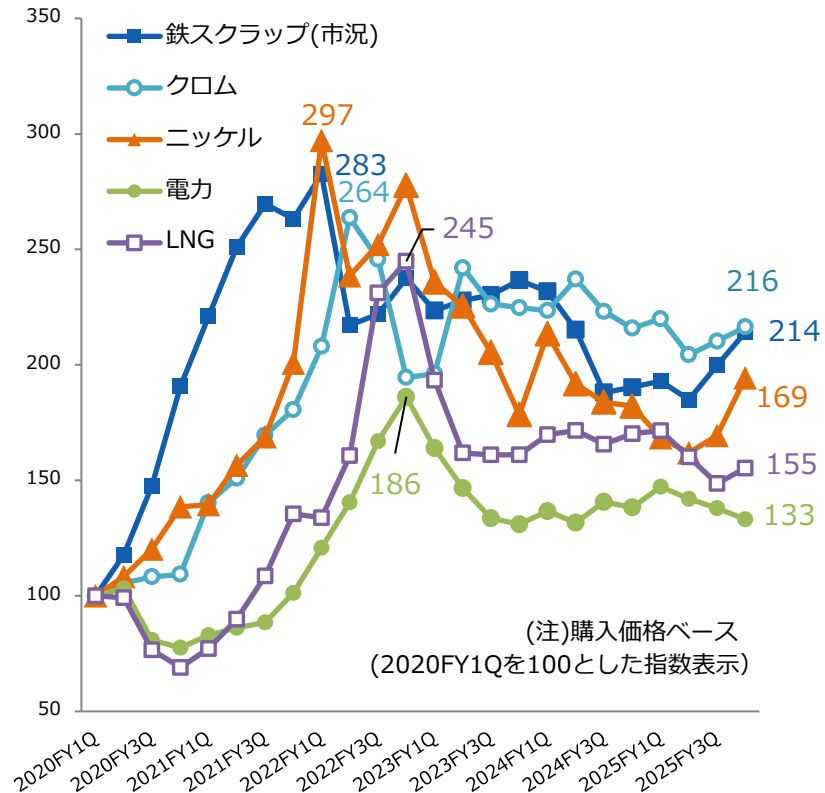
1. 特殊鋼受注数量



2. 主要国自動車販売台数



3. 原燃料価格推移

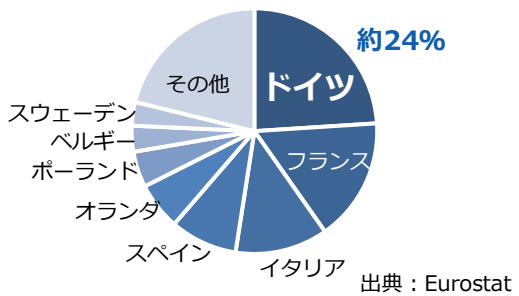


欧州事業環境

EU経済に占めるドイツのポジション

ドイツはEU最大の経済国で、同国のGDPはEU全体の20%以上を占める。

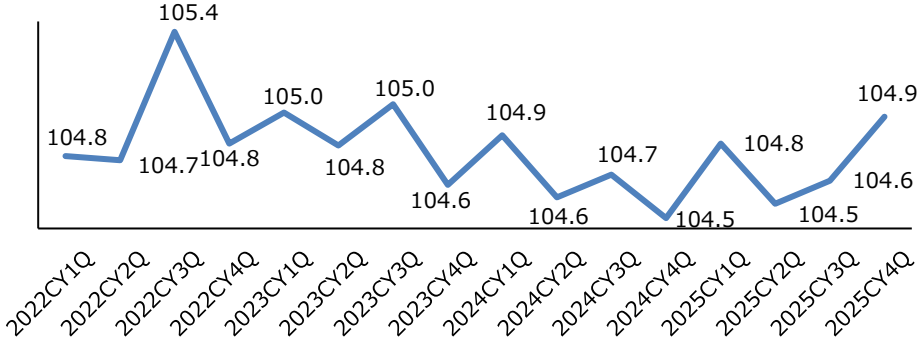
【EUの国別GDP割合(2024FY)】



ドイツGDP推移

2025年のGDPは前年比0.2%増となり、3年ぶりのプラス成長。主に家計消費と政府支出の増加に支えられたが、製造業は3年連続で減少し、特に自動車産業や機械・設備製造業では大幅な落ち込みが見られた。

【ドイツGDP指数(2020CY=100)】

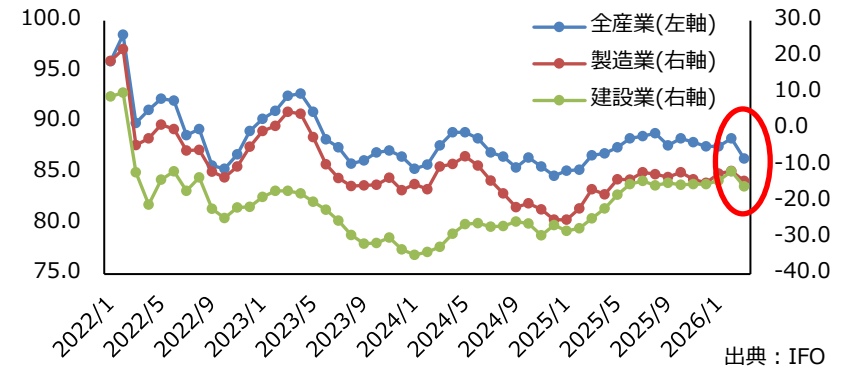


ドイツ企業景況感

中東紛争影響による先行きに対する不透明感の高まりから、ドイツ企業景況感指数は悪化。

【ドイツ企業景況感指数(2015CY=100)】

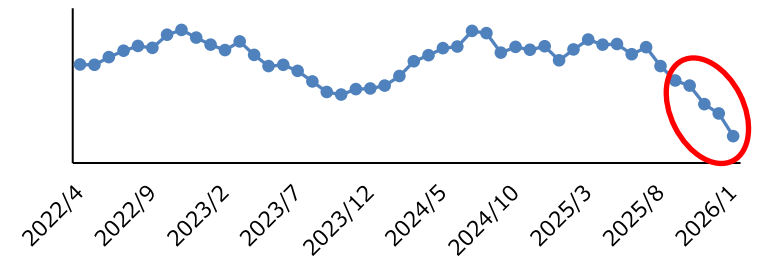
※製造業・建設業はバランス



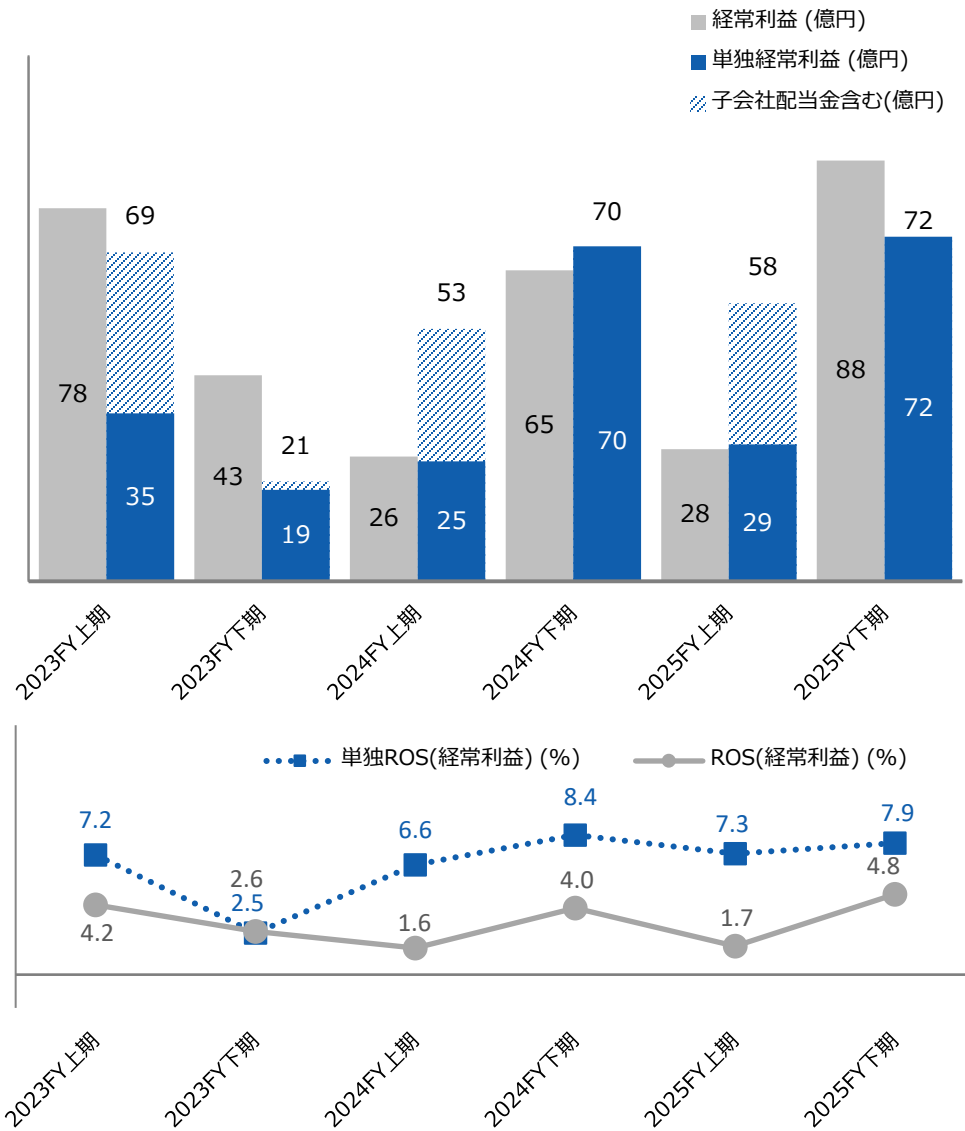
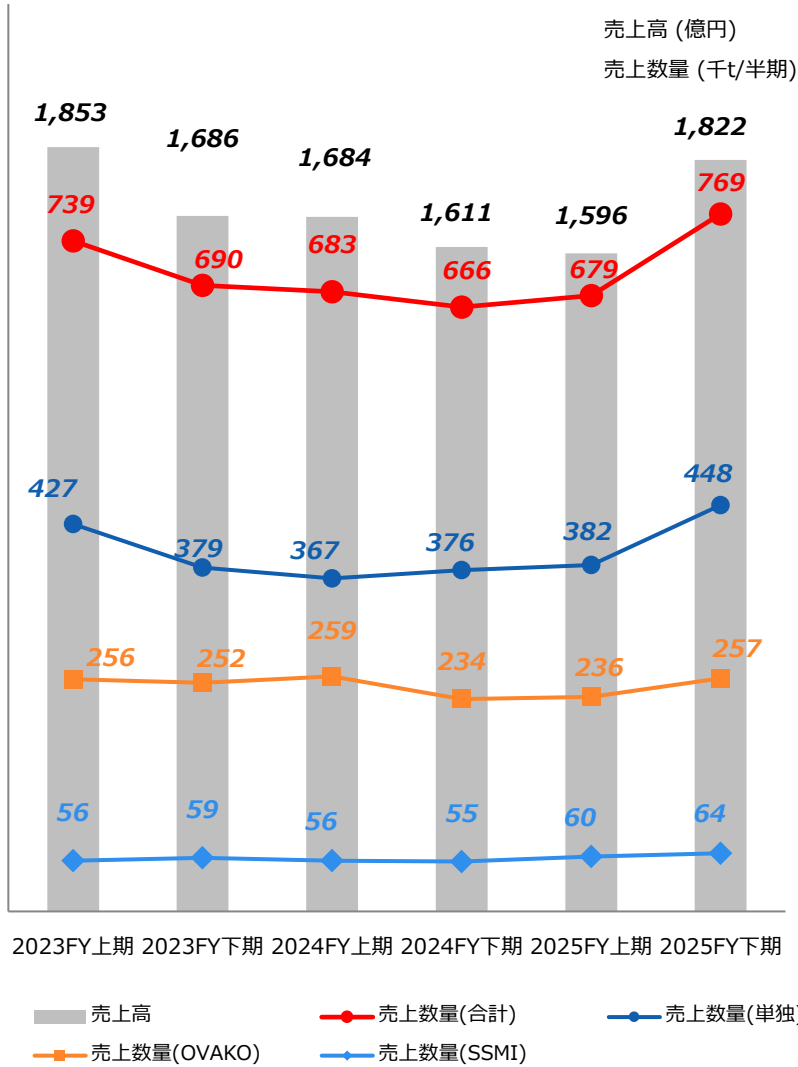
EU対米鉄鋼関連輸出推移

米国関税影響により、対米鉄鋼関連輸出は減少傾向

【EU(27カ国)対米鉄鋼関連輸出推移(6カ月移動平均)】

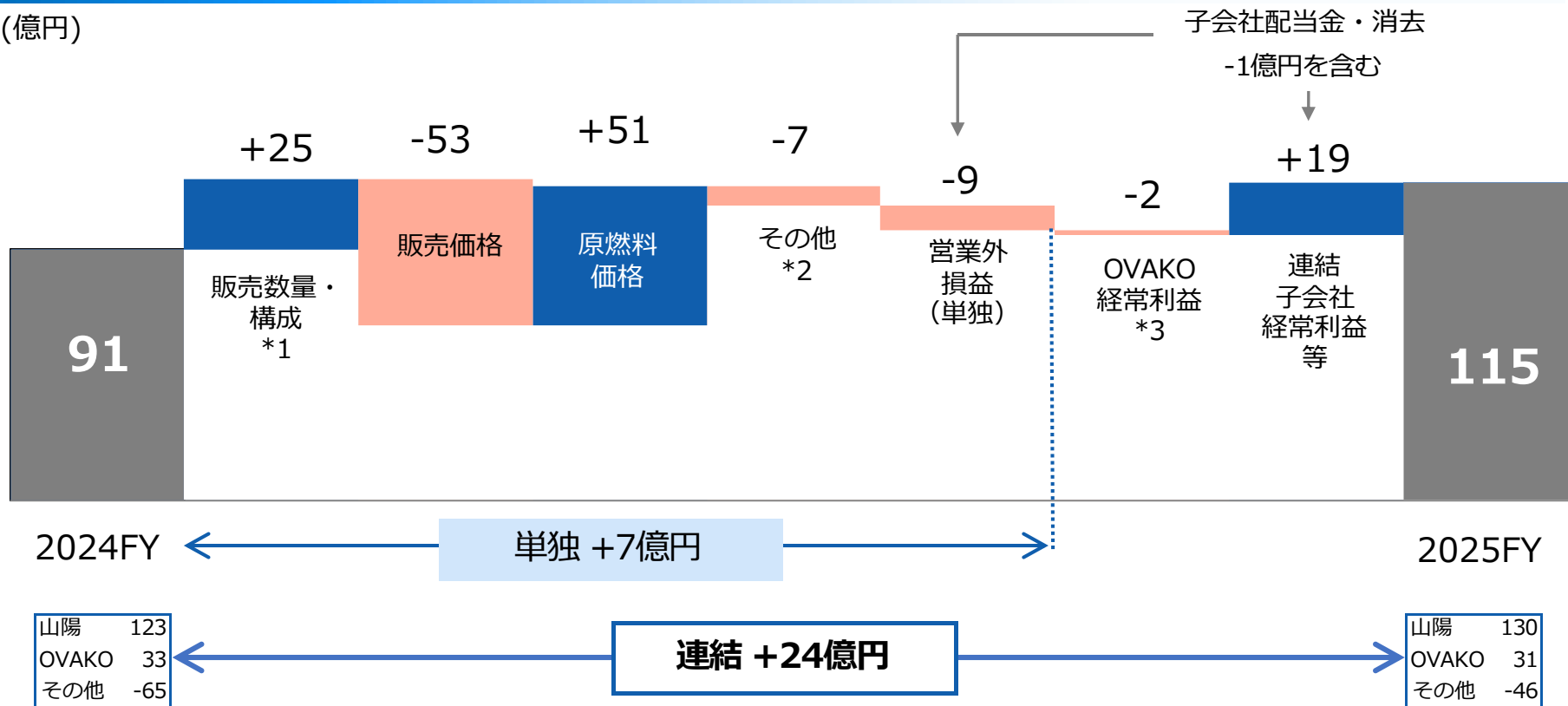


業績推移



経常利益の変化要因 (2024FY→2025FY)

(億円)



*1 販売数量

- 12%増 (+86kt: 743kt→830kt)

*2 その他内訳

- 変動費コストダウン+9、諸資材・外注・物流費等-3、修繕費-1、固定費等-12 (上記のうち、単価上昇影響-12)

*3 OVAKO経常利益

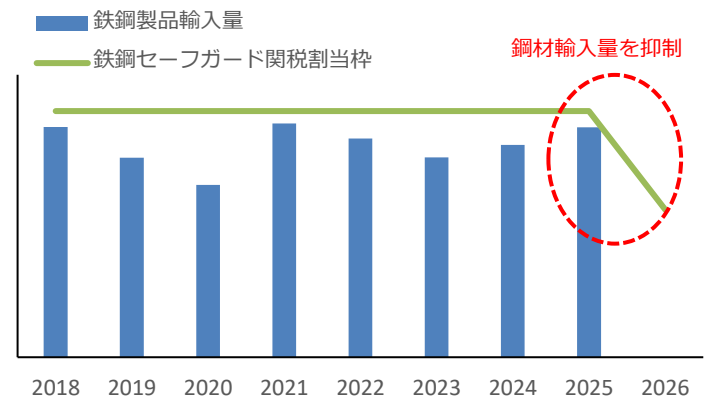
- | | |
|-------------------------|------------|
| 販売数量、構成 | -4 |
| 0%減 (-1kt: 494kt→493kt) | |
| 一過性要因 | +6 (-5→+1) |
| うち、為替影響 | +6 (-5→+1) |
| 販売・原燃料価格 | -12 |
| その他(固定費等) | +8 |

OVAKOの状況

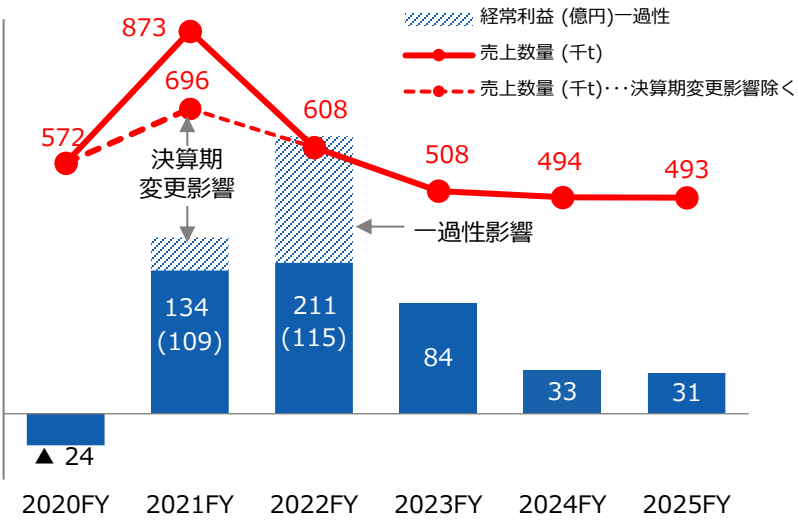
2025FY業績

- ・米国関税をはじめとした不透明感が続き、ドイツ経済の回復が遅れるなど厳しい環境の中で需要が低迷。中級品の拡販を含む各種の数量確保策を継続したが、販売数量は前期比ほぼ横ばいの493千t(前期比-1千t)となった。人員削減をはじめとするコスト削減に取り組んだものの、2026年1月初から2月末まで続いた数十年ぶりの大寒波影響によるエネルギー価格高騰影響などもあり、**経常利益は31億円(前期比-2億円)**となった。
- ・CBAM(炭素国境調整メカニズム)導入や、鉄鋼セーフガードの強化に伴う欧州市場の回復を確実に捉え、販売数量増を目指す。

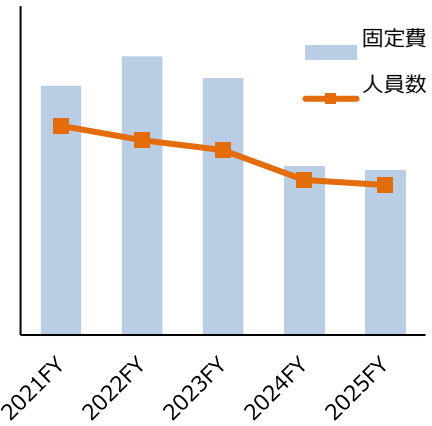
欧州鉄鋼製品輸入量推移



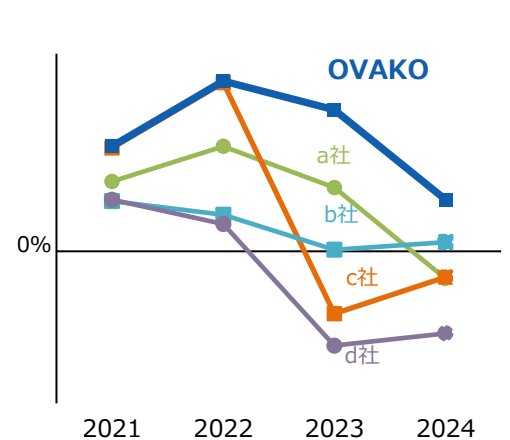
売上数量、経常利益推移



OVAKO 固定費、人員数推移



欧州同業他社比較(EBIT%)

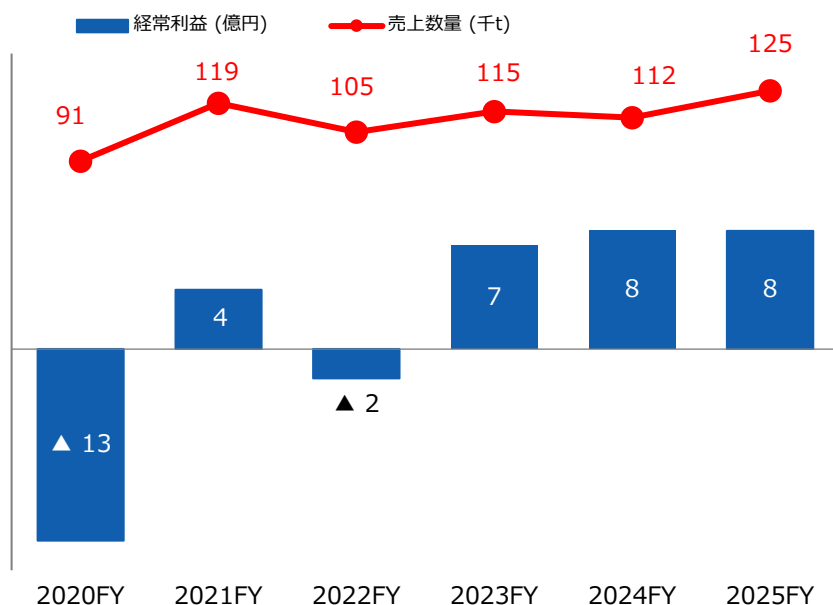


SSMIの状況

2025FY(1-12月期)業績

- 販売数量は前期比13千t増の125千t。販売構成の悪化があったものの、販売数量の増加、競争力のあるエネルギーの活用および金利コスト削減などによるコスト改善施策の実行により、**経常利益は8億円(前期比+0億円)**となった。

売上数量、経常利益推移



収益力強化に向けた取り組み

- 営業基盤・営業体制の強化
 高潔度技術を活かした営業戦略の策定
 拡販、販売構成の高度化、販売価格の改善
- 変動費の削減
 エネルギー原単位改善や競争力のある鉄源・電力の活用による操業コスト・調達コストの削減
 (再エネ由来の競争力のある電力の使用を開始
 太陽光発電電力：2024年9月より使用開始
 風力発電電力：2025年5月より使用開始)
- 固定費の抑制
 借入金の返済等による、金利コストの削減

2. トピックス

トピックス

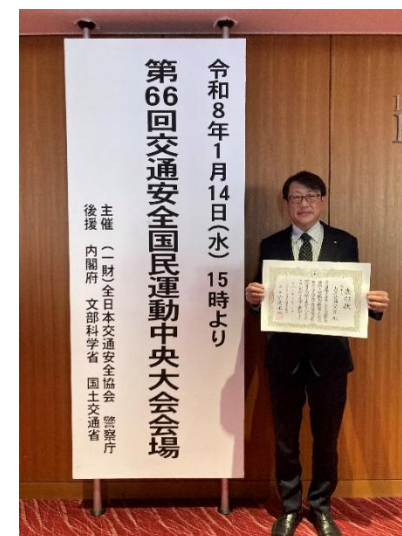
1. CDP気候変動スコアで初めて「A」を取得（2025年12月11日）

- ・ CDPは、グローバルな環境情報開示システムを運営する英国の非営利団体（NGO）で、機関投資家と連携して企業に対し気候変動への取り組みやGHG(温室効果ガス)排出量等に関する情報開示を求めています。
- ・ 当社は、2022年からCDP気候変動質問書への回答を行っており、今回2025年の回答について、初めて最高評価の「A」スコアを取得しました。リーダーシップレベルに位置づけられる「A」スコアは、脱炭素社会の構築に先導的と評価される企業に付与されます。



2. 全日本交通安全協会表彰式に出席（2026年1月14日）

- ・ 第66回交通安全国民運動中央大会において、「交通安全優良団体」として、兵庫県下の団体の中で唯一表彰されました。
- ・ 一般社団法人 全日本交通安全協会・警察庁より、交通安全対策を積極的に推進し、交通事故の防止に顕著な功績があった事業所に対して行われます。無事故・無違反運動“チャレンジ100”への継続的な参加、行政と共同での地域交通安全イベントへの参画などの活動が評価されました。
- ・ 当日の表彰式には秋篠宮皇嗣同妃両殿下がご臨席され、内閣総理大臣をはじめとする来賓方からご祝辞が述べられました。



▲表彰式に出席した清水執行役員

トピックス

3. SSMI（インド）の地域の女性就業活動を支援（2026年2月19日）

- ・インドの子会社SSMIでは、地域社会との共生を重視したさまざまなCSR活動に継続的に取り組んでいます。その一環として、近隣地域の女性を対象に、美容技術や手工芸などの実践的な専門スキルの習得を支援する就業支援講座を実施しています。本講座は、女性の安定した就業機会の創出につなげることを目的としています。
- ・本講座の修了式では、受講者がヘアメイクや手作りの工芸品など、講座を通じて習得した技術の成果を披露するとともに、全課程を修了した受講者に修了証が授与されました。



▲修了式に出席し、挨拶する宮本取締役相談役

4. 1日陸上教室に田中希実選手登場（2026年3月25日）

- ・山陽特殊製鋼文化振興財団は、地域スポーツ振興を図るべく、小・中学生向けに速く走るノウハウを楽しく教える1日陸上教室を開催しており、当社陸上競技部の選手が協力しています。
- ・10回目の開催となる今回は約120名が参加。特別ゲストとして世界で活躍する中距離ランナーの田中希実選手が登場し、参加者の指導にあたりました。田中選手が兵庫県出身であり、かねてより当社陸上競技部と親交があったご縁で、参加していただきました。



▲参加者に指導する田中選手（右から2人目）

3. 2050年カーボンニュートラル(CN) 実現に向けた取り組み

当社グループのロードマップ(Scope1+2、Scope3)

国内鉄鋼メーカーとして初※ SBT認定取得

※中小企業向けSBT認定取得企業を除く

- 2030年度までのGHG排出量削減目標について、産業革命前からの気温上昇を1.5℃に抑えるための科学的根拠に基づいたものであると評価され、国際的なイニシアチブである「Science Based Targets initiative(SBTi)」より、

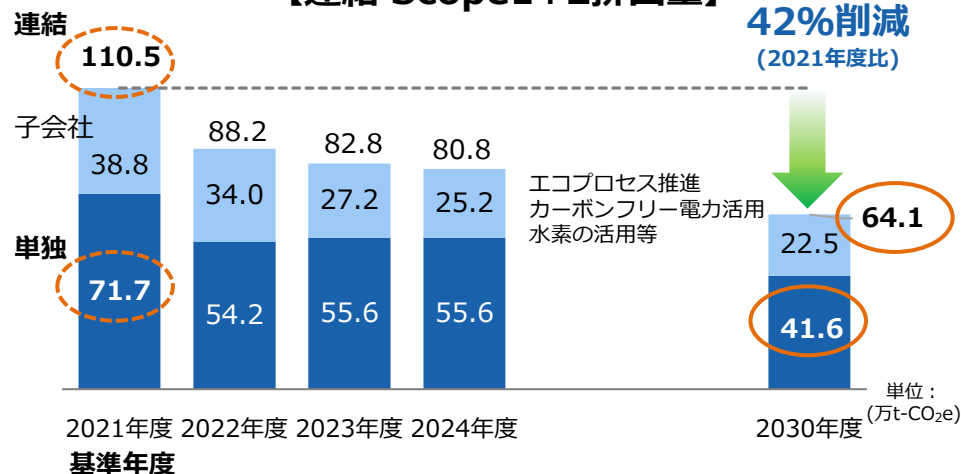
**2025年1月21日に国内
鉄鋼メーカーとして
初めてSBT認定。**



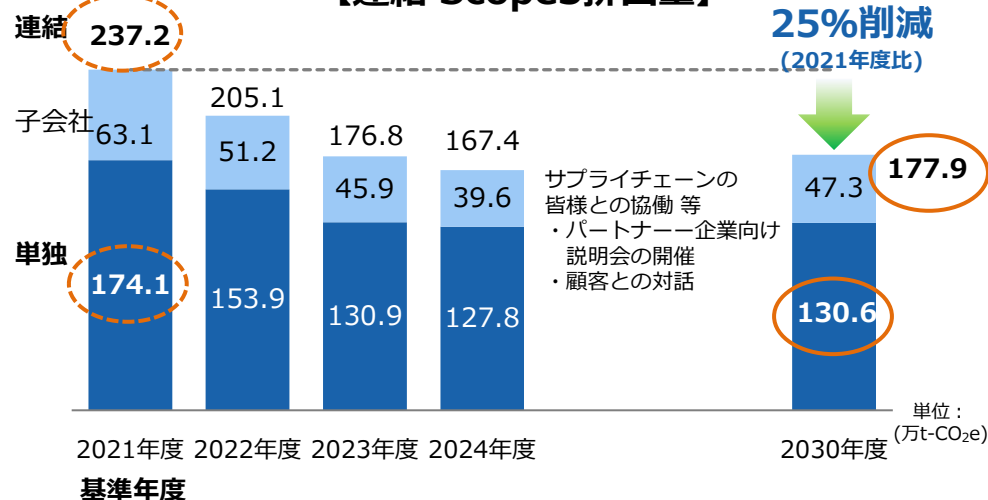
Scope3削減目標策定 鉄鋼業界において世界に先駆けた取り組み

- 2024年9月、連結でのScope3排出量削減目標を策定。
- SBTのScope3認定基準に整合する「**2030年度までに2021年度比でGHG排出量を25%削減**」を目指す。

【連結 Scope1+2排出量】

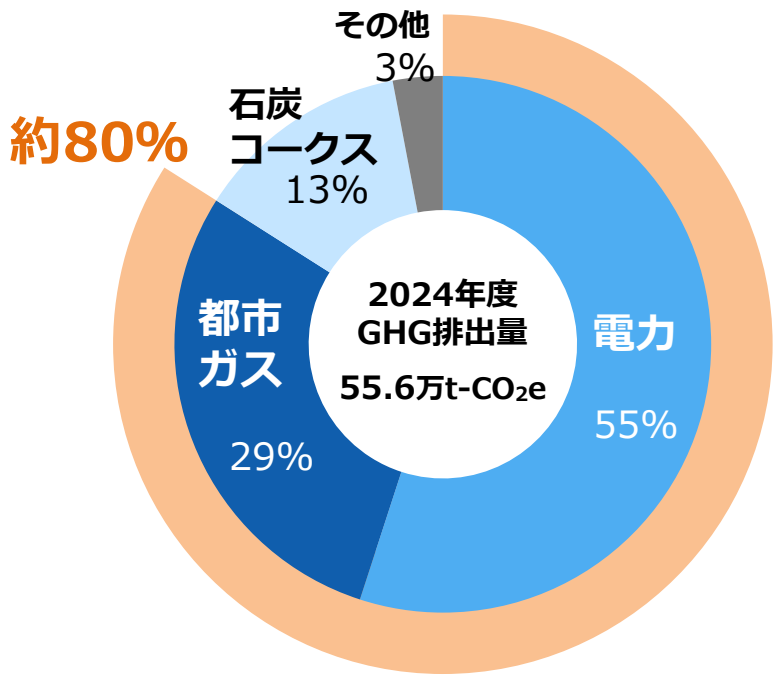


【連結 Scope3排出量】



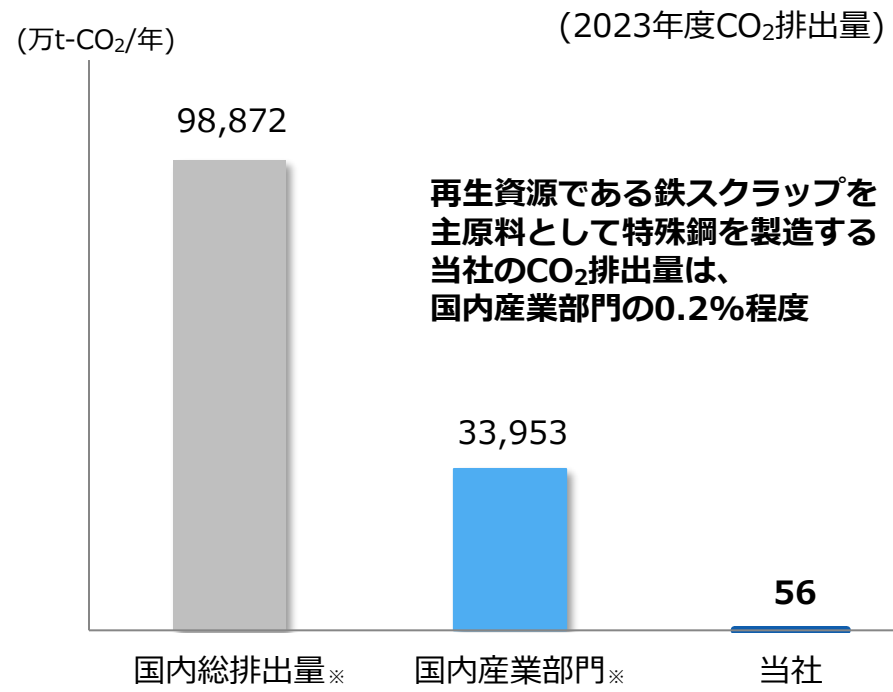
当社のGHG排出量の状況

当社のGHG排出量内訳 (当社単独Scope1+2)



当社のGHG排出量の80%以上が電力と都市ガス

CO₂排出量における当社の位置づけ



※国立環境研究所温室効果ガスインベントリオフィス 日本の温室効果ガス排出量データ (2023年度実績報告値)

GXリーグへの参画

当社は、2050年カーボンニュートラル実現に向けて、企業の成長、生活者の幸福そして地球環境への貢献が同時に実現される経済社会システム全体の変革を目指す「GXリーグ基本構想」に賛同、2023年5月にGXリーグに参画した。

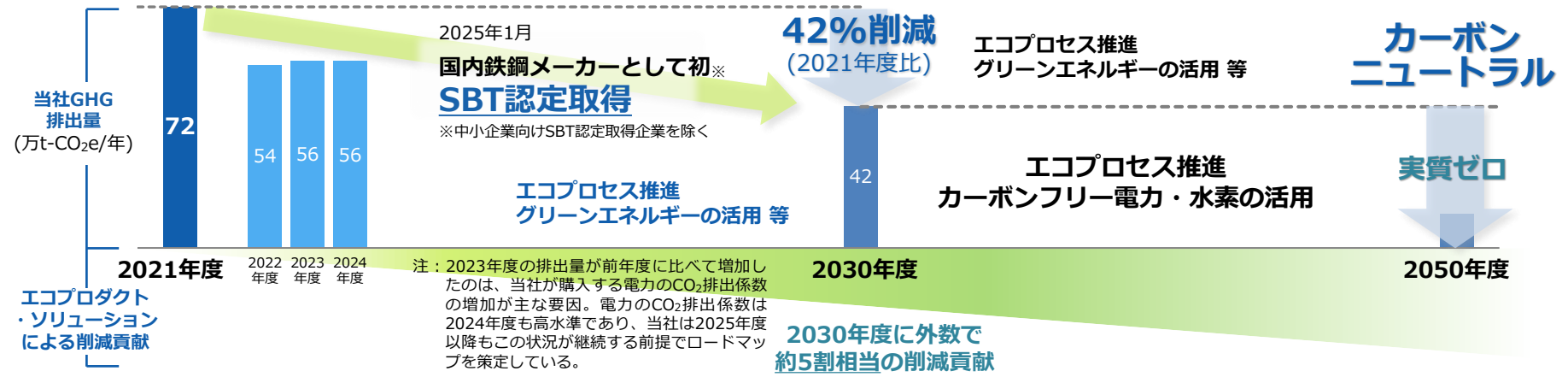
自主的な排出量取引、市場創造のためのルール形成、ビジネス機会の創発、GXスタジオでの交流といったGXリーグにおける活動に積極的に参加していく。



2050年に向けた当社のロードマップ

製造工程における省エネとグリーンエネルギーの活用、およびエコプロダクト・エコソリューションによる貢献で、自社の製造工程だけでなく、社会のあらゆる段階でのGHG排出量削減を目指す

【当社単独Scope1 + 2排出量】



当社GHG排出量削減



エコプロセス

製造現場を中心とした全社の省エネ対策やエネルギー効率を高める製造技術開発を推進
 ※2023年度からインターナルカーボンプライシングを導入

リジエバーナーを採用した省エネ加熱炉



グリーンエネルギー活用

カーボンフリー電力や脱化石燃料、自然エネルギーの活用
 ※2022年度から再エネ由来電力の一部活用開始
 2024年度から水力・太陽光発電活用開始

エコプロダクト・エコソリューションによる削減貢献



エコプロダクト

製品を使用する段階でGHG排出量削減に貢献する商品や、需要家のエコプロセスに貢献する商品の開発・供給を推進

長寿命風力発電用軸受鋼の開発



エコソリューション

エネルギー原単位削減に寄与する省エネや生産性向上技術をOVAKO、SSMI等の海外グループ会社に展開

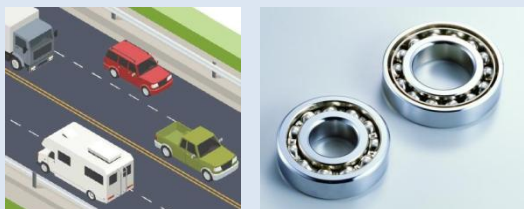
海外グループ会社への技術展開

エコプロダクトによるGHG排出量削減への貢献

お客様での部品製造や最終製品としての使用段階におけるGHG排出量削減に貢献するエコプロダクトの開発に注力

- ・当社材料技術を活用したエコプロダクトによる社会のあらゆる段階でのGHG排出量削減貢献を目指す。
- ・今後も長寿命化等、材料特性をさらに強化したエコプロダクトの実装と一層の普及を図ることで、カーボンニュートラル社会の早期実現に貢献していく。

長寿命軸受鋼



耐久性・信頼性向上による
部品の小型・軽量化

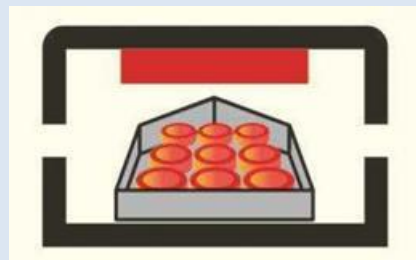


長寿命化による
故障率低減・メンテフリー化
(CO₂削減効果は推計で1.3万トン/年※)

工程省略鋼

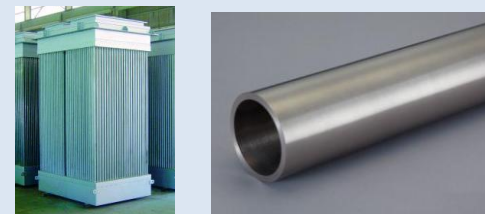


(高強度肌焼鋼：ECOMAX®シリーズ)
熱処理の省略・簡略化



(高硬度高靱性鋼：TOUGHFIT®)
新成分+新熱処理技術による
部品硬化熱処理負荷の軽減

耐熱ステンレス鋼管



高強度化による
熱回収効率向上



高耐食性化による
ごみ発電効率化

※第18回 日本LCA学会 研究発表会(2023年3月10日)にて発表

欧州子会社OVAKOの取り組み

OVAKOロードマップ

2020年
4月 世界初 水素を燃料に用いた鋼片加熱に成功

2022年
1月 グリーン鋼材の販売を開始
全ての鋼材に気候サーチャージを適用

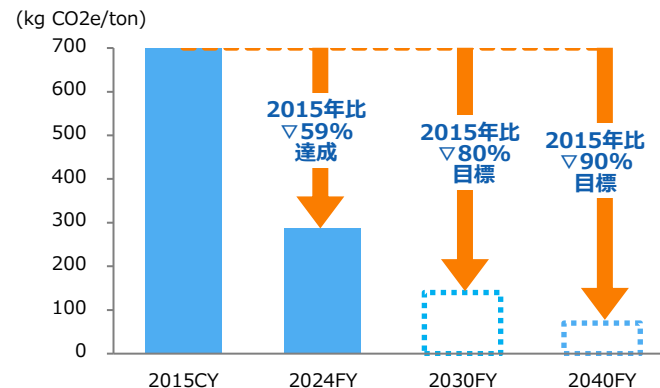
2023年
9月 カーボンフリー水素プラント稼働開始

欧州最大級の設備
Hofors工場加熱工程で排出する
GHGを約50%(約2万t/年)削減可能

顧客との協同取り組み事例

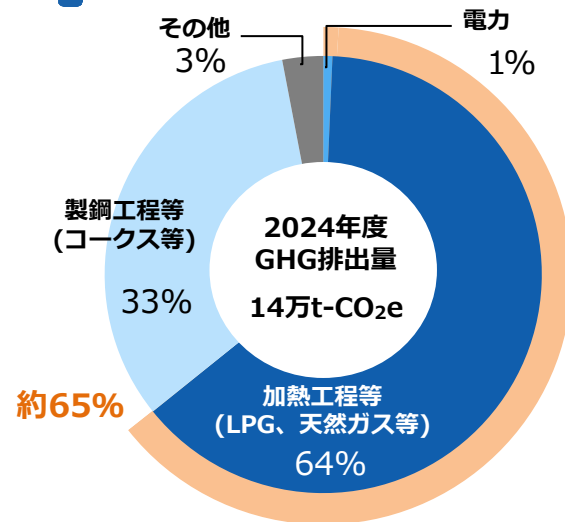
- ・ SKFと協同し、GHG排出量90%減の軸受生産を達成
- ・ Volvoの温室効果ガス ネットゼロ 自動車製造プロジェクトへ参画

OVAKOのGHG排出量(Scope1+2)



OVAKO SUSTAINABILITY REPORT 2024をもとに作成

OVAKOのGHG排出量内訳

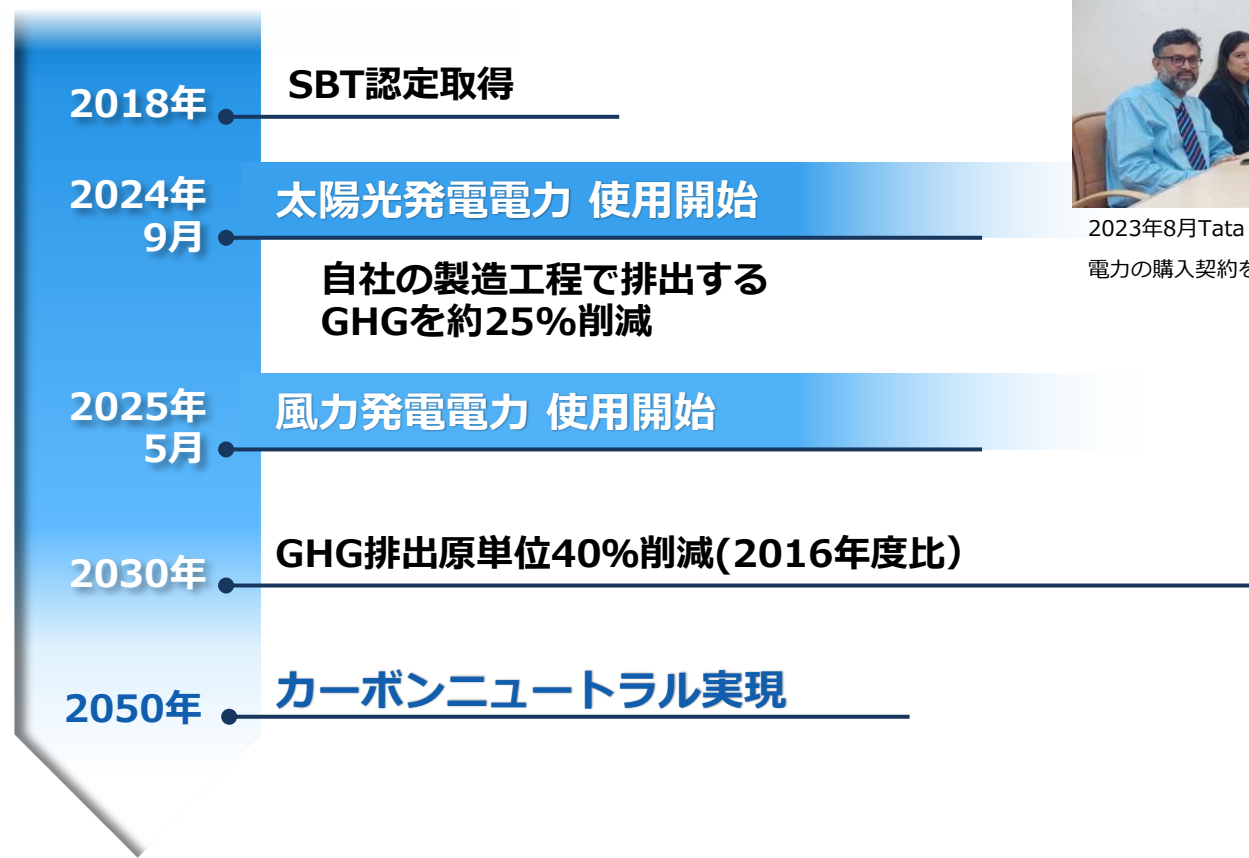


インド子会社SSMIの取り組み

再エネ由来電力の活用や燃料転換、省エネを推進

再エネ由来電力の活用や、従来の燃料油からクリーンで効率的な天然ガスへの燃料転換、エネルギー効率の高い生産プロセスや設備の導入等を推進。

SSMIロードマップ



2023年8月Tata Powerグループと太陽光発電による再エネ由来電力の購入契約を締結



太陽光発電

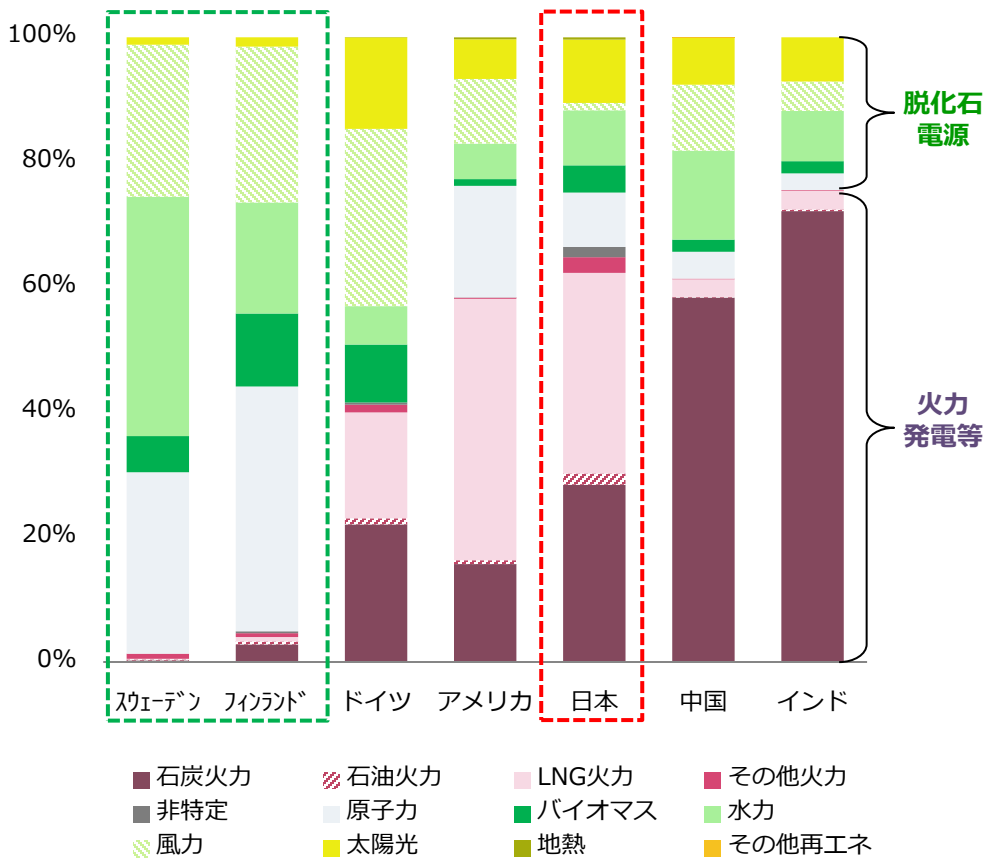


風力発電

【参考】各国の電源構成と産業用電力価格

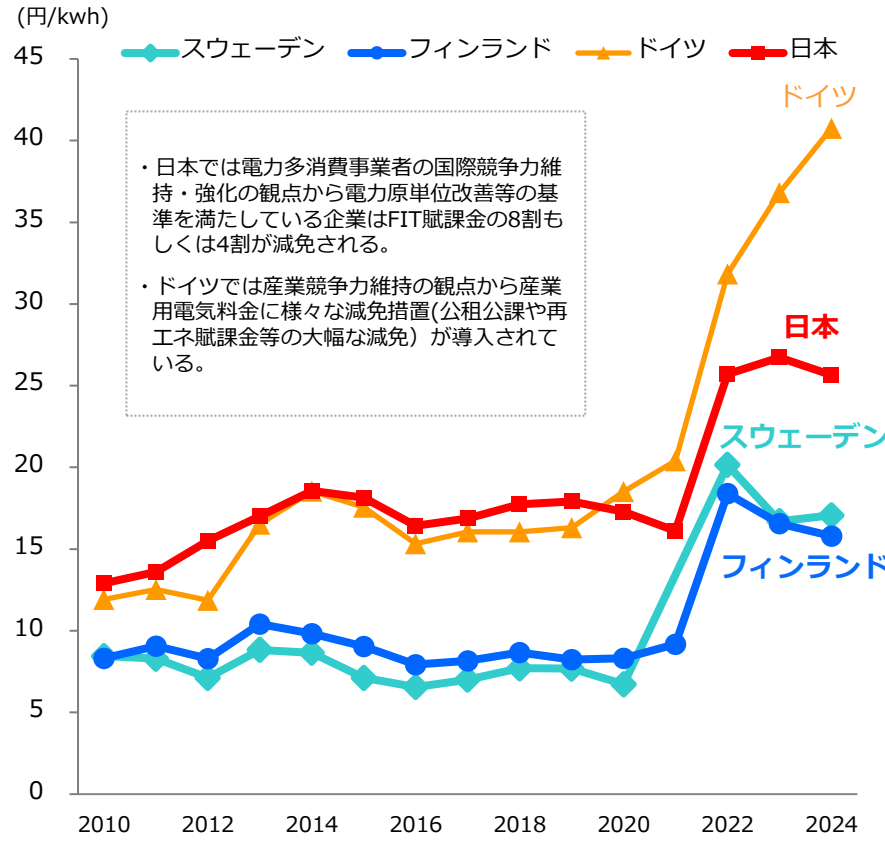
電源構成(2024年)

OVAKOの生産拠点が立地するスウェーデン、フィンランドは脱化石電力(水力、風力、原子力)比率が圧倒的に高い。



産業用電力価格の推移

スウェーデン、フィンランドの産業用電力価格は日本の1/3~2/3程度。



・日本では電力多消費事業者の国際競争力維持・強化の観点から電力原単位改善等の基準を満たしている企業はFIT賦課金の8割もしくは4割が減免される。

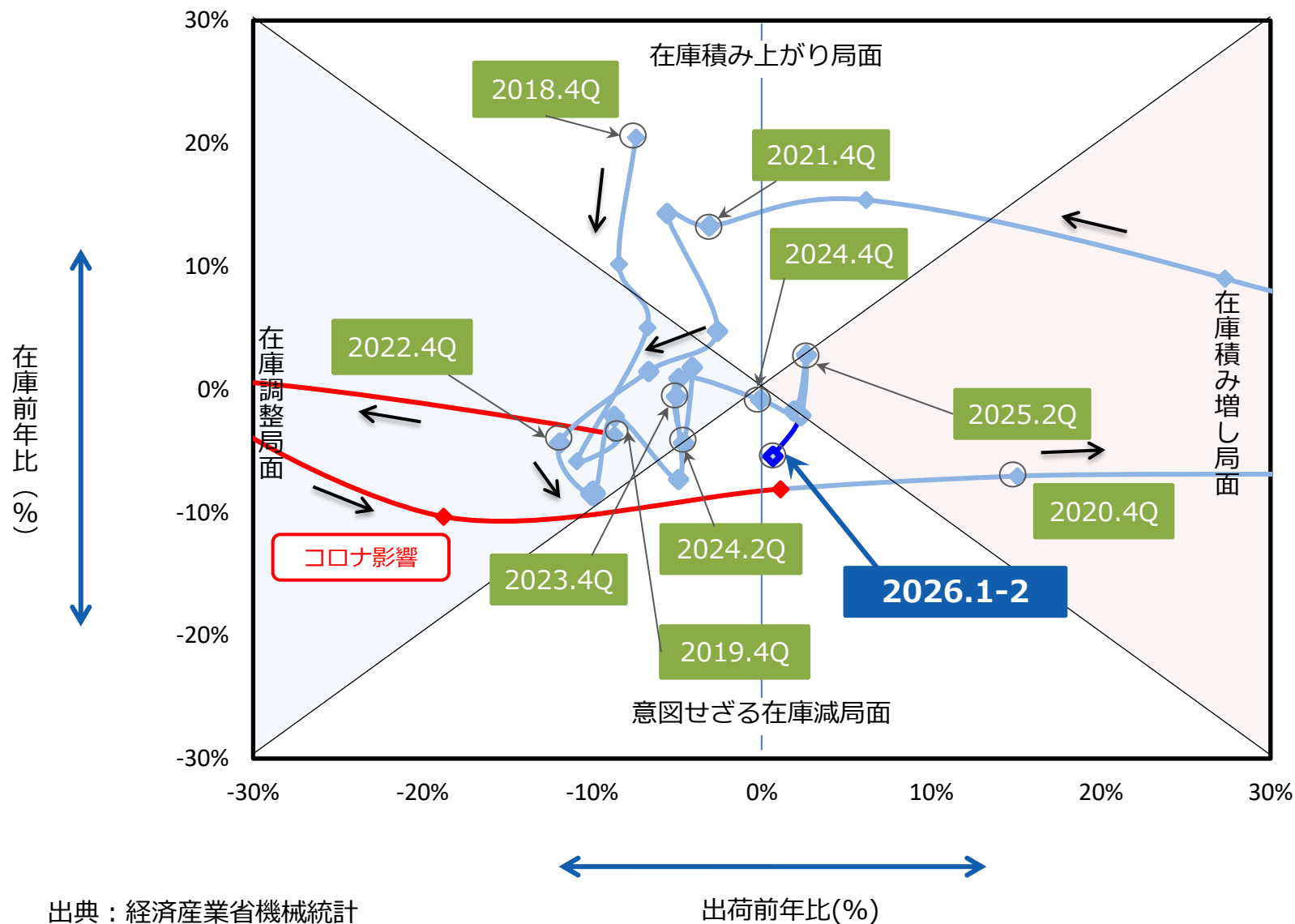
・ドイツでは産業競争力維持の観点から産業用電気料金に様々な減免措置(公租公課や再エネ賦課金等の大幅な減免)が導入されている。

※ IEA(国際エネルギー機関)「Monthly Electricity Statistics」より当社作成

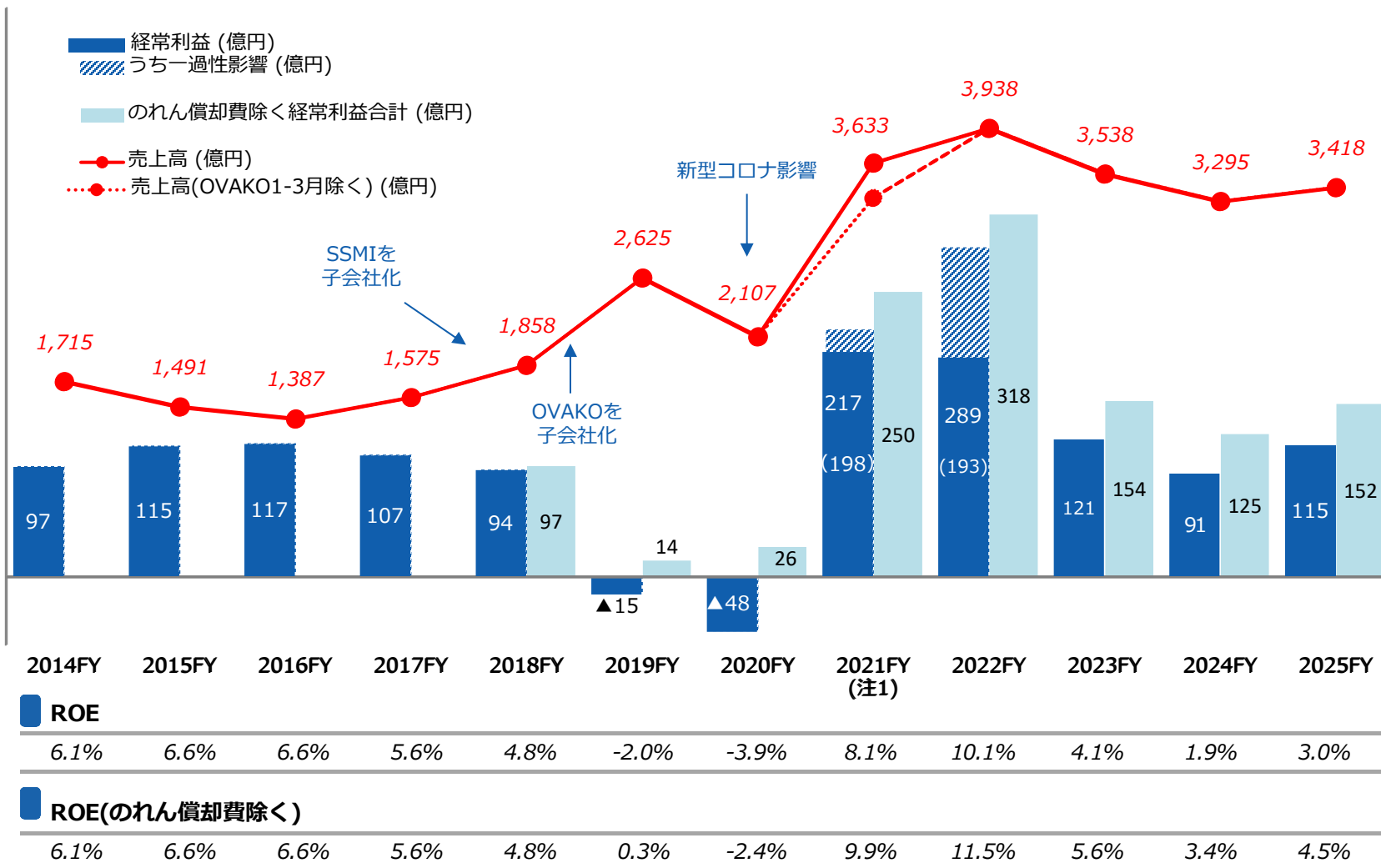
英国ビジネス・エネルギー・産業戦略省「Industrial electricity prices in the IEA」より当社作成

4. 参考資料

軸受在庫循環図



業績推移(年度)



(注1)2021FYのOVAKOおよびのれん償却費は2021年1月～2022年3月の15カ月の数値

(注2)SSMIは2018FY2Qから、OVAKOは2019FY1Qから損益を連結

SANYO SPECIAL STEEL - the Confident Choice



<https://www.sanyo-steel.co.jp/>